科学研究費助成事業の実績(2017年度採択分より)

新学術領域研究 (研究領域提案型)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2017(~2018)	シアノバクテリアを用いたストリゴラクトン高効率生産系構築と新規類 縁体の創成	生命科学部 准教授 渡辺智
2017(~2018)	恐怖から消去への回路シフトのスイッチ機構の解明	生命科学部 教授 喜田聡
2017(~2018)	社会行動制御回路の基盤解明による個性検出系の確立と個性 創発の理解	生命科学部 教授 喜田聡
2017(~2018)	新規性認識機構を介する記憶アップデート基盤の解明	生命科学部 助教 福島穂高
2017(~2017)	マイクロエンドフェノタイプによる精神病態学の創出	生命科学部 教授 喜田聡
2018(~2019)	植物の短期・長期高温ストレス適応機構の解明	生命科学部 教授 太治輝昭
2018(~2022)	高インテグリティを実現するin vitro卵子産生系の開発	生命科学部 教授 尾畑やよい

基盤研究(A)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018(~2021)	生物時計による脳機能制御基盤の解明と脳疾患改善への応用	生命科学部 教授 喜田聡

基盤研究(B) (特設)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018(~2021)	ヤムイモの窒素固定エンドファイトの解明と農業革新	国際食料情報学部 教授 志和地弘信

基盤研究(B)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2017(~2019)	湿地土壌からの樹木を介したメタン放出:中高緯度3地域での変動要因と放出機構の解明	生物産業学部 教授 寺澤和彦
2017(~2019)	長期・非金銭・本業への効用を重視する農業参入企業の効用構造の解明と参入理論の構築	国際食料情報学部 教授 渋谷往男
2017(~2020)	植物根への有害重金属元素の侵入をくい止める〜植生回復を目指した研究基盤の確立	生命科学部 教授 中村進一
2018(~2020)	機能性食品成分の腸管シグナル制御を介した作用機構の解明に関する研究	応用生物科学部 准教授 井上順
2018(~2020)	カイコガをモデルとしたが類の交尾行動解発因子の同定と受容・情報処理機構の解明	農学部 准教授 櫻井健志
2018(~2020)	ほ乳類の胚発生に不可欠な母性エピジェネティック制御機構の解明	生命科学部 教授 尾畑やよい

基盤研究(C)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2017(~2019)	システマティック・レビューによる「機能性表示食品」の有効性評価方法に関する研究	地域環境科学部 教授 上岡洋晴
2017(~2019)	母乳栄養法が児の食行動の発達に与える影響	応用生物科学部 教授 田中越郎
2017(~2019)	熊本地震における地域文化を活用した防災教育と観光振興による 復興マネジメント	地域環境科学部 助教 町田怜子
2017(~2020)	食農教育から食農学習への進化に関する質的心理研究	国際食料情報学部 教授 稲泉博己
2017(~2019)	高等学校教科外教育における協同性プログラムの改良と普及	教職·学術情報課程 教授 木内隆生
2017(~2019)	酸素律速に着目した湿生植物の高温ストレスと温暖適応機構の解明	生物産業学部 准教授 中村隆俊
2017(~2019)	原子力災害からの営農再開へ向けた被災地産農産物に対する消費者行動とマーケティング	国際食料情報学部 准教授 半杭真一
2017(~2019)	和牛繁殖経営における担い手構造再編の条件に関する研究	国際食料情報学部 教授 堀田和彦
2017(~2019)	ボランティア型農的体験活動の現地コーディネート機能と政策的推 進方策に関する研究	国際食料情報学部 教授 鈴村源太郎
2017(~2019)	降雨パターンの変動が農地土壌に及ぼす影響の解明とリスク軽減 技術の開発	地域環境科学部 教授 鈴木伸治
2017(~2019)	青果物の脱水凍結および解凍への減圧過熱水蒸気の適用	地域環境科学部 教授 村松良樹
2017(~2019)	肥育中組織を用いた発現量解析による脂肪交雑責任遺伝子の探 索	農学部 准教授 平野貴
2018(~2020)	鳥獣と家畜のあいだ―近代日本の毛皮産業と牽引力	生物産業学部 准教授 宇仁義和
2018(~2020)	「米の高次機能利用」をめざした新規米澱粉の物性制御と味覚応答評価系の構築	 応用生物科学部 教授 阿久澤さゆり
2018(~2020)	国産ハッカからのデオドラント効果を有する機能性成分の単離と解析	生物産業学部 准教授 妙田貴生
2018(~2020)	母乳中のポリフェノール組成	応用生物科学部 教授 本間和宏
2018(~2020)	生物色素に着目した教材・カリキュラム研究	 教職・学術情報課程 准教授 武田晃治
2018(~2020)	移動式たわみ測定装置を用いた歩行者系舗装の健全度評価に関 する研究	地域環境科学部 教授 竹内康
2018(~2020)	放線菌門がもつタンデム型ABCトランスポーターの構造機能と生理 的意義の解明	生命科学部 教授 矢嶋俊介
2018(~2020)	キメラゲノム細菌を用いた外来遺伝子サイレンシングの多段階機構の詳細解析	生命科学部 教授 朝井計
2018(~2020)	見過ごされていた立体選択的反応の開発を起点とする薬剤耐性菌 克服に関する研究	生命科学部 准教授 矢島新
2018(~2020)	腸管オルガノイドを用いた新しい安全性評価系の構築	応用生物科学部 教授 服部一夫
2018(~2020)	魚油構成成分による腸管脂質代謝制御メカニズムの解明	応用生物科学部 准教授 高橋信之
2018(~2020)	テアフラビン類とリン脂質との分子間相互作用の解析	応用生物科学部 教授 中山勉

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018(~2020)	イネいもち病抵抗性NLRタンパク質による病原菌エフェクター認識の分子機構の解明	生命科学部 教授 齋藤宏昌
2018(~2020)	日本統治時代の台湾に築造された日本式庭園の保存状況と空間 的特徴に関する研究	地域環境科学部 准教授 粟野隆
2018(~2020)	咀嚼時の脳血流計測による認知脳科学的食嗜好判別手法の確立	国際食料情報学部 准教授 朴壽永
2018(~2020)	理論計算を基盤とする金の特性を活用した新規合成反応の開拓	生命科学部 助教 斉藤竜男
2018(~2020)	新規に見出されたボツリヌス毒素複合体の細胞認識における「機能 シフト機構」の解明	生物産業学部 教授 相根義昌
2018(~2021)	空間情報技術を活用した自然資源管理のための生態系及び社会性レジリエンス指標の算出	地域環境科学部 准教授 下嶋聖

挑戦的研究(萌芽)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2017(~2018)	海馬記憶機能を標的とした記憶操作による新規脳疾患治療戦略の確立	生命科学部 教授 喜田聡

若手研究 < 2018~>

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018(~2020)	アイルランド自由国(1922-37)の文学における対抗的国民性: イェイツを中心に	国際食料情報学部 助教 諏訪友亮
2018(~2021)	太陽熱を利用した海水淡水化装置の技術科教材への応用	教職·学術情報課程 助教 實野雅太
2018(~2019)	植物寄生センチュウによる宿主認識機構の解明	生命科学部 助教 伊藤晋作
2018(~2020)	植物の根の肥大形質を決定する原因遺伝子の同定	農学部 准教授 三井裕樹
2018(~2020)	花弁のアントシアニン着色を制御する光応答経路の解明	農学部 助教 田崎啓介
2018(~2019)	マウス卵巣における細胞種特異的なin vitro遺伝子機能解析システムの開発	生命科学部 研究員 佐々木恵亮
2018(~2021)	メタボローム解析に用いる糞便の最適な採取・保存方法の検討と 網羅的な代謝産物の測定	応用生物科学部 助教 盛喜久江
2018(~2019)	メタボリックシンドロームによる皮膚機能の脆弱化メカニズムの解明	応用生物科学部 助教 山根拓実

若手研究(B) <~2017>

	7	
選定年度	研究課題名	研究代表者
2017(~2019)	ラクトバチルス属のコリノイド合成能とプロバイオティクス素材としての 基礎的検討	応用生物科学部 准教授 谷岡由梨
$1.2017(\sim2019)$	絶滅したニホンカワウソの博物館標本から解き明かす系統分類と集 団形成史	農学部 助教 和久大介

選定年度	研究課題名	研究代表者
2017(~2019)	AMPKがSRSF1を介して選択的スプライシングに及ぼす影響の解析	応用生物科学部 助教 鈴木司
2017(~2018)	清酒中オリゴ糖の官能特性と生成メカニズムの解明	応用生物科学部 助教 徳岡昌文
2017(~2018)	森林生態系における菌根菌への炭素配分:リアルタイム菌糸呼吸測定法の開発	地域環境科学部 准教授 今井伸夫
2017(~2018)	ナノポアシーケンサーの解析を野外で可能にするクラウド型解析環境の構築と公開	生命科学部 助教 志波優
2017(~2018)	κ-カゼインの解離がミセルの構造特性に与える影響およびチーズの 新規製法の開発	応用生物科学部 助教 岡大貴

研究活動スタート支援

選定年度	研究課題名	
2017(~2018)	新しい植物神経伝達様システムの解明	生命科学部 助教 山本紘輔
$1 - 2018(\sim 2019)$	林間放牧による森林生態系および流域の水環境への影響―林間 放牧と生態系サービス―	地域環境科学部 助教 山崎由理

特別研究員奨励費

選定年度	研究課題名	研究代表者
2017(~2019)	環境変化が駆動するシジミチョウ科共通の色模様変化と進化のメカニズム	PD 岩田大生
2017(~2018)	HCB分解代謝系に関与する遺伝子群の同定および土壌中における挙動	DC2 伊藤虹児
2018(~2020)	In vitro卵作出系を応用した新規手法によるインプリント機構の解明	PD 佐々木恵亮
2018(~2019)	量的形質遺伝子座の集積による形質発現の安定性 – トマトの早期開花性を例に –	DC2 中野玄
2018(~2019)	卵胞発育を制御する細胞外核酸:卵子の質の向上に向けて	DC2 宗像祥久
2018(~2020)	腸管オルガノイド培養系を用いた抗炎症性食品成分の探索と解析	DC1 齋藤由季

国際共同研究強化(B)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018(~2022)	気候変動が森林性大型動物(ツキノワグマとヒグマ)の土地利用 に与える影響の評価	地域環境科学部 教授 山崎晃司

学外助成の採択実績(2018年度における主なもののみ)

戦略的研究推進事業/文部科学省

選定年度	研究課題名	研究	代表者		
2012 (~2018)	植物バイオマス原料を利活用した微生物工場による新規 バイオポリマーの創製および高機能部材	生命科学部 分子生命化学科	教授	田口	精一

[※]本学における実施は2017年度より

創薬基盤研究推進事業/厚生労働省

選定年度	研究課題名	研究	代表者		
2016 (~2020)	国産麻黄自給率10%達成に向けた研究	農学部 生物資源開発学科	教授	御影	雅幸

地球規模課題対応国際科学技術プログラム/JST・JICA

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018	ジブチにおける広域緑化ポテンシャル評価に基づいた発	地域環境科学部 教授 島田 沢彦
(~2025)	展的・持続可能水資源管理技術確立に関する研究	生産環境工学科

食品の安全確保推進研究事業/厚生労働省

選定年度	研究課題名	研乳	究代表者		
2018 (~2022)	小規模事業者等におけるHACCP導入支援に関する研究	応用生物科学部 農芸化学科	教授	五十君	静信

戦略的プロジェクト研究推進事業委託事業/農林水産省

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018 (~2022)	海外植物遺伝資源の民間等への提供促進	国際食料情報学部 教授 入江 憲治 国際農業開発学科

イノベーション創出強化研究推進事業/農林水産省

選定年度	研究課題名		研究代表者		
2018 (~2021)	ジャガイモシロシストセンチュウ土壌調査のためのハヤ ブサ型ドローンの開発	生物産業学部 北方圏農学科	教授	吉田	穂積

学術研究振興資金/私学事業団

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018 (~2020)	妊娠を支えるエキソソーム由来miRNAの解明とその制 御	農学部畜産学科 教授 岩田 尚孝

科学研究費助成事業の実績(2017年度採択分より)

新学術領域研究 (研究領域提案型)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2017(~2018)	シアノバクテリアを用いたストリゴラクトン高効率生産系構築と新規類 縁体の創成	生命科学部 准教授 渡辺智
2017(~2018)	恐怖から消去への回路シフトのスイッチ機構の解明	生命科学部 教授 喜田聡
2017(~2018)	社会行動制御回路の基盤解明による個性検出系の確立と個性 創発の理解	生命科学部 教授 喜田聡
2017(~2018)	新規性認識機構を介する記憶アップデート基盤の解明	生命科学部 助教 福島穂高
2017(~2017)	マイクロエンドフェノタイプによる精神病態学の創出	生命科学部 教授 喜田聡
2018(~2019)	植物の短期・長期高温ストレス適応機構の解明	生命科学部 教授 太治輝昭
2018(~2022)	高インテグリティを実現するin vitro卵子産生系の開発	生命科学部 教授 尾畑やよい

基盤研究(A)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018(~2021)	生物時計による脳機能制御基盤の解明と脳疾患改善への応用	生命科学部 教授 喜田聡

基盤研究(B) (特設)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018(~2021)	ヤムイモの窒素固定エンドファイトの解明と農業革新	国際食料情報学部 教授 志和地弘信

基盤研究(B)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2017(~2019)	湿地土壌からの樹木を介したメタン放出:中高緯度3地域での変動要因と放出機構の解明	生物産業学部 教授 寺澤和彦
2017(~2019) 長期・非金銭・本業への効用を重視する農業参入企業の効用構造の解明と参入理論の構築 国際食料		国際食料情報学部 教授 渋谷往男
2017(~2020)	植物根への有害重金属元素の侵入をくい止める〜植生回復を目指した研究基盤の確立	生命科学部 教授 中村進一
2018(~2020)	機能性食品成分の腸管シグナル制御を介した作用機構の解明に関する研究	応用生物科学部 准教授 井上順
2018(~2020)	カイコガをモデルとしたが類の交尾行動解発因子の同定と受容・情報処理機構の解明	農学部 准教授 櫻井健志
2018(~2020)	ほ乳類の胚発生に不可欠な母性エピジェネティック制御機構の解明	生命科学部 教授 尾畑やよい

基盤研究(C)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2017(~2019)	システマティック・レビューによる「機能性表示食品」の有効性評価方法に関する研究	地域環境科学部 教授 上岡洋晴
2017(~2019)	母乳栄養法が児の食行動の発達に与える影響	応用生物科学部 教授 田中越郎
2017(~2019)	熊本地震における地域文化を活用した防災教育と観光振興による 復興マネジメント	地域環境科学部 助教 町田怜子
2017(~2020)	食農教育から食農学習への進化に関する質的心理研究	国際食料情報学部 教授 稲泉博己
2017(~2019)	高等学校教科外教育における協同性プログラムの改良と普及	教職·学術情報課程 教授 木内隆生
2017(~2019)	酸素律速に着目した湿生植物の高温ストレスと温暖適応機構の解明	生物産業学部 准教授 中村隆俊
2017(~2019)	原子力災害からの営農再開へ向けた被災地産農産物に対する消費者行動とマーケティング	国際食料情報学部 准教授 半杭真一
2017(~2019)	和牛繁殖経営における担い手構造再編の条件に関する研究	国際食料情報学部 教授 堀田和彦
2017(~2019)	ボランティア型農的体験活動の現地コーディネート機能と政策的推 進方策に関する研究	国際食料情報学部 教授 鈴村源太郎
2017(~2019)	降雨パターンの変動が農地土壌に及ぼす影響の解明とリスク軽減 技術の開発	地域環境科学部 教授 鈴木伸治
2017(~2019)	青果物の脱水凍結および解凍への減圧過熱水蒸気の適用	地域環境科学部 教授 村松良樹
2017(~2019)	肥育中組織を用いた発現量解析による脂肪交雑責任遺伝子の探 索	農学部 准教授 平野貴
2018(~2020)	鳥獣と家畜のあいだ―近代日本の毛皮産業と牽引力	生物産業学部 准教授 宇仁義和
2018(~2020)	「米の高次機能利用」をめざした新規米澱粉の物性制御と味覚応答評価系の構築	 応用生物科学部 教授 阿久澤さゆり
2018(~2020)	国産ハッカからのデオドラント効果を有する機能性成分の単離と解析	生物産業学部 准教授 妙田貴生
2018(~2020)	母乳中のポリフェノール組成	応用生物科学部 教授 本間和宏
2018(~2020)	生物色素に着目した教材・カリキュラム研究	 教職・学術情報課程 准教授 武田晃治
2018(~2020)	移動式たわみ測定装置を用いた歩行者系舗装の健全度評価に関 する研究	地域環境科学部 教授 竹内康
2018(~2020)	放線菌門がもつタンデム型ABCトランスポーターの構造機能と生理 的意義の解明	生命科学部 教授 矢嶋俊介
2018(~2020)	キメラゲノム細菌を用いた外来遺伝子サイレンシングの多段階機構の詳細解析	生命科学部 教授 朝井計
2018(~2020)	見過ごされていた立体選択的反応の開発を起点とする薬剤耐性菌 克服に関する研究	生命科学部 准教授 矢島新
2018(~2020)	腸管オルガノイドを用いた新しい安全性評価系の構築	応用生物科学部 教授 服部一夫
2018(~2020)	魚油構成成分による腸管脂質代謝制御メカニズムの解明	応用生物科学部 准教授 高橋信之
2018(~2020)	テアフラビン類とリン脂質との分子間相互作用の解析	応用生物科学部 教授 中山勉

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018(~2020)	2018(~2020) イネいもち病抵抗性NLRタンパク質による病原菌エフェクター認識の 分子機構の解明 生命科学部 教授 齋藤宏昌	
2018(~2020)	日本統治時代の台湾に築造された日本式庭園の保存状況と空間 的特徴に関する研究	地域環境科学部 准教授 粟野隆
2018(~2020)	咀嚼時の脳血流計測による認知脳科学的食嗜好判別手法の確立	国際食料情報学部 准教授 朴壽永
2018(~2020)	理論計算を基盤とする金の特性を活用した新規合成反応の開拓	生命科学部 助教 斉藤竜男
2018(~2020)	新規に見出されたボツリヌス毒素複合体の細胞認識における「機能 シフト機構」の解明	生物産業学部 教授 相根義昌
2018(~2021)	空間情報技術を活用した自然資源管理のための生態系及び社会性レジリエンス指標の算出	地域環境科学部 准教授 下嶋聖

挑戦的研究(萌芽)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2017(~2018)	海馬記憶機能を標的とした記憶操作による新規脳疾患治療戦略の確立	生命科学部 教授 喜田聡

若手研究 < 2018~>

選定年度	研究課題名	研究代表者	
2018(~2020)	771ルランド自由国(1922-37)の文学における対抗的国民性: イェイツを中心に 国際食料情報学部 助教 諏訪友		
2018(~2021)	太陽熱を利用した海水淡水化装置の技術科教材への応用	教職·学術情報課程 助教 實野雅太	
2018(~2019)	植物寄生センチュウによる宿主認識機構の解明	生命科学部 助教 伊藤晋作	
2018(~2020)	植物の根の肥大形質を決定する原因遺伝子の同定	農学部 准教授 三井裕樹	
2018(~2020)	花弁のアントシアニン着色を制御する光応答経路の解明	農学部 助教 田崎啓介	
2018(~2019)	マウス卵巣における細胞種特異的なin vitro遺伝子機能解析システムの開発	生命科学部 研究員 佐々木恵亮	
2018(~2021)	メタボローム解析に用いる糞便の最適な採取・保存方法の検討と 網羅的な代謝産物の測定	応用生物科学部 助教 盛喜久江	
2018(~2019)	メタボリックシンドロームによる皮膚機能の脆弱化メカニズムの解明	応用生物科学部 助教 山根拓実	

若手研究(B) <~2017>

選定年度	研究課題名	研究代表者
2017(~2019)	ラクトバチルス属のコリノイド合成能とプロバイオティクス素材としての 基礎的検討	応用生物科学部 准教授 谷岡由梨
$1.2017(\sim2019)$	絶滅したニホンカワウソの博物館標本から解き明かす系統分類と集 団形成史	農学部 助教 和久大介

選定年度	研究課題名	研究代表者
2017(~2019)	AMPKがSRSF1を介して選択的スプライシングに及ぼす影響の解析	応用生物科学部 助教 鈴木司
2017(~2018)	清酒中オリゴ糖の官能特性と生成メカニズムの解明	応用生物科学部 助教 徳岡昌文
2017(~2018)	森林生態系における菌根菌への炭素配分:リアルタイム菌糸呼吸測定法の開発	地域環境科学部 准教授 今井伸夫
2017(~2018)	ナノポアシーケンサーの解析を野外で可能にするクラウド型解析環境の構築と公開	生命科学部 助教 志波優
2017(~2018)	κ-カゼインの解離がミセルの構造特性に与える影響およびチーズの 新規製法の開発	応用生物科学部 助教 岡大貴

研究活動スタート支援

選定年度	研究課題名	
2017(~2018)	新しい植物神経伝達様システムの解明	生命科学部 助教 山本紘輔
$1 - 2018(\sim 2019)$	林間放牧による森林生態系および流域の水環境への影響―林間 放牧と生態系サービス―	地域環境科学部 助教 山崎由理

特別研究員奨励費

選定年度	研究課題名	研究代表者
2017(~2019) 環境変化が駆動するシジミチョウ科共通の色模様変化と進化のメカ ニズム PD 岩田大生		PD 岩田大生
2017(~2018)	HCB分解代謝系に関与する遺伝子群の同定および土壌中における挙動	DC2 伊藤虹児
2018(~2020)	In vitro卵作出系を応用した新規手法によるインプリント機構の解明	PD 佐々木恵亮
2018(~2019)	量的形質遺伝子座の集積による形質発現の安定性 – トマトの早期開花性を例に –	DC2 中野玄
2018(~2019)	卵胞発育を制御する細胞外核酸:卵子の質の向上に向けて	DC2 宗像祥久
2018(~2020)	腸管オルガノイド培養系を用いた抗炎症性食品成分の探索と解析	DC1 齋藤由季

国際共同研究強化(B)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018(~2022)	気候変動が森林性大型動物(ツキノワグマとヒグマ)の土地利用 に与える影響の評価	地域環境科学部 教授 山崎晃司

学外助成の採択実績(2018年度における主なもののみ)

戦略的研究推進事業/文部科学省

選定年度	研究課題名	研究	代表者		
2012 (~2018)	植物バイオマス原料を利活用した微生物工場による新規 バイオポリマーの創製および高機能部材	生命科学部 分子生命化学科	教授	田口	精一

[※]本学における実施は2017年度より

創薬基盤研究推進事業/厚生労働省

選定年度	研究課題名	研究	代表者		
2016 (~2020)	国産麻黄自給率10%達成に向けた研究	農学部 生物資源開発学科	教授	御影	雅幸

地球規模課題対応国際科学技術プログラム/JST・JICA

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018	ジブチにおける広域緑化ポテンシャル評価に基づいた発	地域環境科学部 教授 島田 沢彦
(~2025)	展的・持続可能水資源管理技術確立に関する研究	生産環境工学科

食品の安全確保推進研究事業/厚生労働省

選定年度	研究課題名	研乳	究代表者		
2018 (~2022)	小規模事業者等におけるHACCP導入支援に関する研究	応用生物科学部 農芸化学科	教授	五十君	静信

戦略的プロジェクト研究推進事業委託事業/農林水産省

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018 (~2022)	海外植物遺伝資源の民間等への提供促進	国際食料情報学部 教授 入江 憲治 国際農業開発学科

イノベーション創出強化研究推進事業/農林水産省

選定年度	研究課題名		研究代表者		
2018 (~2021)	ジャガイモシロシストセンチュウ土壌調査のためのハヤ ブサ型ドローンの開発	生物産業学部 北方圏農学科	教授	吉田	穂積

学術研究振興資金/私学事業団

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018 (~2020)	妊娠を支えるエキソソーム由来miRNAの解明とその制 御	農学部畜産学科 教授 岩田 尚孝

2019年度採択 文部科学省科学研究費助成事業の実績

新学術領域研究 (研究領域提案型)

多様な研究グループにより提案された、我が国の学術水準の向上・強化につながる新たな研究領域について 共同研究や研究人材の育成、設備の共用化等の取組を通じて発展させる研究です。(期間5年、1領域単年度当たり 1,000万円~3億円程度を原則とします。)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018 (~2019)	植物の短期・長期高温ストレス適応機構の解明	生命科学部 教授 太治 輝昭
2018 (~2022)	高インテグリティを実現するin vitro卵子産生系の開発	生命科学部 教授 尾畑 やよい

挑戦的研究 (萌芽)

1人又は複数の研究者で組織する研究計画であって、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを志向し、 飛躍的に発展する潜在性を有する研究です。(萌芽)については、探索的の性質の強い、あるいは芽生え期の研究も対象 とします。(期間2~3年間 金額500万円以下)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2016 (~2019)	精神障害者の農業就労と地域社会包摂	国際食料情報学部 教授 杉原 たまえ
2019 (~2021)	立体化学的に反転したキラルポリマー材料の生合成	生命科学部 教授 田口 精一
2019 (~2021)	農業経営の倒産事例からみた経営体質強化策の構築	国際食料情報学部 教授 内山 智裕
2019 (~2021)	福島の森林林床における放射性物質の残存状況モニタリング 手法の構築	国際食料情報学部 教授 足達 太郎
I 2019 (~2021)	基質の性状とそれに制御されるmiRNAを用いた統合的な 卵子胚培養システムの開発	農学部 教授 岩田 尚孝

基盤研究(A)

1人又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究です。

(期間3~5年間 金額2,000万円以上 5,000万円以下)

選定年度	研究課題名	研究代表者	
2015 (~2019)	変異体を用いたイネ茎における糖・デンプン蓄積機構の解明	その他部局等 教授 大杉 立	

基盤研究(B)

1人又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究です。

(3~5年間 500万円以上 2,000万円以下)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2015 (~2019)	東アジアにおける森林植物の分布制限条件の解明と過去・ 現在・将来の分布変化予測	国際食料情報学部 教授 田中 信行
2016 (~2019)	牛の分娩時胎盤節における炎症誘導機構の解明と 胎盤成熟誘導型分娩誘起技術開発	生物産業学部 教授 平山 博樹
2017 (~2019)	ラットモデルを用いたアトピー性皮膚炎原因遺伝子の同定	農学部 教授 庫本 高志
2017 (~2019)	湿地土壌からの樹木を介したメタン放出:中高緯度3地域 での変動要因と放出機構の解明	生物産業学部 教授 寺澤 和彦
2017 (~2019)	長期・非金銭・本業への効用を重視する農業参入企業の 効用構造の解明と参入理論の構築	国際食料情報学部 教授 渋谷 往男
2017 (~2020)	植物根への有害重金属元素の侵入をくい止める ~植生回復を目指した研究基盤の確立	生命科学部 教授 中村 進一
2017 (~2019)	多様な在来種が生育する草地植生は河川堤防法面に創出可能か?	農学部 准教授 山田 晋
2018 (~2020)	機能性食品成分の腸管シグナル制御を介した作用機構の解明に 関する研究	応用生物科学部 准教授 井上 順

2018 (~2020)	カイコガをモデルとしたガ類の交尾行動解発因子の同定と 受容・情報処理機構の解明	農学部 准教授 櫻井 健志
2018 (~2020)	ほ乳類の胚発生に不可欠な母性エピジェネティック制御機構 の解明	生命科学部 教授 尾畑 やよい
2019 (~2021)	それぞれのクマの春と夏の過ごし方 - 個体レベルの生態学的・ 生理学的研究 -	地域環境科学部 教授 山﨑 晃司
2019 (~2023)	植物の遺伝的多様性から気候変動に適応するためのメカニズムを理 解する	生命科学部 教授 太治 輝昭
2016 (~2019)	転写装置の新規機能とネットワーク解析による生存戦略の再評価	生命科学部 教授 吉川 博文
2016 (~2019)	ゼオライト極性ナノ空間場による超不安定化学種の反応性制御 と新奇合成反応への適用	生命科学部 教授 尾中 篤
2017 (~2019)	多様な在来種が生育する草地植生は河川堤防法面に創出可能か?	農学部 准教授 山田 晋

基盤研究(B)(特設)

2016年度より「オラリティと社会」、「次世代の農資源利用」、「情報社会におけるトラスト」の3つの分野が新しく設けられ現行の細目では審査が困難と思われる研究課題で、特設分野に関する幅広い視点から審査されることを希望する応募者に開かれています。(3~5年間 500万円以上 2,000万円以下)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2017 (~2020)	農業-栄養-健康の連関を考慮した農業資源利用による持続型社会 の構築	農学部 准教授 松田 浩敬
2018 (~2021)	ヤムイモの窒素固定エンドファイトの解明と農業革新	国際食料情報学部 教授 志和地 弘信

基盤研究(C)

1人又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究です。

(期間3~5年間 金額500万円以下)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2015 (~2019)	カンボジアにおける牛糞堆肥の施用による土壌保全と大腸菌の	地域環境科学部 教授 三原 真智人
2015 (~2019)	抑制対策に関する研究	地域境境科子的 教技 二原 具有八
2017 (~2019)	システマティック・レビューによる「機能性表示食品」の有効性	地域環境科学部 教授 上岡 洋晴
2017 (*2013)	評価方法に関する研究	20000000000000000000000000000000000000
2017 (~2019)	母乳栄養法が児の食行動の発達に与える影響	応用生物科学部 教授 田中 越郎
2017 (~2019)	熊本地震における地域文化を活用した防災教育と観光振興による	 地域環境科学部 准教授 町田 怜子
	復興マネジメント	TO-SANCTITI III PERALE TO III III
2017 (~2020)	食農教育から食農学習への進化に関する質的心理研究	国際食料情報学部 教授 稲泉 博己
2017 (~2019)	高等学校教科外教育における協同性プログラムの改良と普及	その他部局等 教授 木内 隆生
2017 (~2019)	酸素律速に着目した湿生植物の高温ストレスと温暖適応機構の解明	生物産業学部 准教授 中村 隆俊
2017 (~2020)	原子力災害からの営農再開へ向けた被災地産農産物に対する	 国際食料情報学部 准教授 半杭 真一
2017 (2020)	消費者行動とマーケティング	
2017 (~2019)	和牛繁殖経営における担い手構造再編の条件に関する研究	国際食料情報学部 教授 堀田 和彦
2017 (~2019)	ボランティア型農的体験活動の現地コーディネート機能と	国際食料情報学部 教授 鈴村 源太郎
2017 (2013)	政策的推進方策に関する研究	ELVINATION OF SALA SPIT WAYNER
2017 (~2019)	降雨パターンの変動が農地土壌に及ぼす影響の解明とリスク	
2017 (2013)	軽減技術の開発	TO-SANCTITI HE SAIX SEPT 117H
2017 (~2019)	青果物の脱水凍結および解凍への減圧過熱水蒸気の適用	地域環境科学部 教授 村松 良樹
2017 (~2019)	肥育中組織を用いた発現量解析による脂肪交雑責任遺伝子の探索	農学部 准教授 平野 貴
2017 (~2019)	新規標的タンパク質同定法を用いた植物シグナル伝達物質受容体	 応用生物科学部 教授 高橋 公咲
2017 (2013)	の同定	
2018 (~2020)	鳥獣と家畜のあいだ一近代日本の毛皮産業と牽引力	生物産業学部 准教授 宇仁 義和
2018 (~2020)	「米の高次機能利用」をめざした新規米澱粉の物性制御と	 応用生物科学部 教授 阿久澤 さゆり
2010 (~2020)	味覚応答評価系の構築	ルの用土物付子即 教政 阿八岸 とゆり
2018 (~2020)	国産ハッカからのデオドラント効果を有する機能性成分の単離と解析	生物産業学部 教授 妙田 貴生
2018 (~2020)	母乳中のポリフェノール組成	応用生物科学部 教授 本間 和宏
2018 (~2020)	生物色素に着目した教材・カリキュラム研究	その他部局等 准教授 武田 晃治
2018 (~2020)	移動式たわみ測定装置を用いた歩行者系舗装の健全度評価に関する 研究	地域環境科学部 教授 竹內 康

	Turker-	
2018 (~2020)	放線菌門がもつタンデム型ABCトランスポーターの構造機能と	生命科学部 教授 矢嶋 俊介
	生理的意義の解明	
2018 (~2020)	キメラゲノム細菌を用いた外来遺伝子サイレンシングの多段階機構	生命科学部 教授 朝井 計
	の詳細解析	- T-17-17 BF 3/3/2 49371 BT
2018 (~2020)	見過ごされていた立体選択的反応の開発を起点とする薬剤耐性菌克服	 生命科学部 准教授 矢島 新
2010 (*2020)	に関する研究	工业付于即 /在秋汉 /八曲 /初
2018 (~2020)	腸管オルガノイドを用いた新しい安全性評価系の構築	応用生物科学部 教授 服部 一夫
2018 (~2020)	魚油構成成分による腸管脂質代謝制御メカニズムの解明	応用生物科学部 准教授 高橋 信之
2018 (~2020)	テアフラビン類とリン脂質との分子間相互作用の解析	応用生物科学部 教授 中山 勉
0010 (0000)	イネいもち病抵抗性NLRタンパク質による病原菌エフェクター認識	
2018 (~2020)	の分子機構の解明	生命科学部 教授 齋藤 宏昌
	日本統治時代の台湾に築造された日本式庭園の保存状況と	
2018 (~2020)	空間的特徴に関する研究	地域環境科学部 准教授 粟野 隆
2018 (~2020)	咀嚼時の脳血流計測による認知脳科学的食嗜好判別手法の確立	国際食料情報学部 准教授 朴 壽永
2018 (~2020)	理論計算を基盤とする金の特性を活用した新規合成反応の開拓	生命科学部 助教 斉藤 竜男
2010 (2020)	ART由来先天性インプリンティング異常症の発症機序の検討と	T-47 FT 3 115 20 30 7 7 105 105 105 105 105 105 105 105 105 105
2018 (~2020)	リスク要因の探索	生命科学部 准教授 樋浦 仁
	新規に見出されたボツリヌス毒素複合体の細胞認識における	
2018 (~2020)		生物産業学部 教授 相根 義昌
	「機能シフト機構」の解明	
2018 (~2021)	空間情報技術を活用した自然資源管理のための生態系及び	地域環境科学部 准教授 下嶋 聖
2010 (2010)	社会性レジリエンス指標の算出	11 A 21 37 49 177 - 11 1 43
2016 (~2019)	環境調和型プロセスによる植物バイオマス由来炭素繊維の開発	生命科学部 准教授 石井 大輔
2016 (~2019)	多種類の生体分子を順序つけて2次元膜上に整列提示する	応用生物科学部 准教授 飯嶋 益巳
	ナノブロックの開発	7575—15775 41 725050 5500 550
2019 (~2021)	鉄欠乏状態によるビタミンB12代謝を介した骨特異的	 応用生物科学部 助教 井上 博文
2013 (*2021)	エピジェネティクス変動の解明	加工物件子前 奶扒 开工 诗人
2019 (~2021)	フィリピンの幼児を対象とした栄養補助食品の調理・加工法の検討	 応用生物科学部 准教授 池田 昌代
2019 (~2021)	と栄養教育教材の作成	心用主物科子的 准教技 池田 自代
2019 (~2021)	母児が健やかに実践できる母乳栄養法の確立	応用生物科学部 准教授 若菜 宣明
2010 (2021)	非線形結合振動子系における同期モードの共存と引き込み現象に	排出 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
2019 (~2021)	関する数理解析	地域環境科学部 教授 江上 親宏
2019 (~2021)	金属イオン交換性多孔質窒化炭素の創製とその特性の解明	生命科学部 教授 尾中 篤
2019 (~2021)	生体分子精密整列化用足場分子の開発とバイオセンシングへの応用	応用生物科学部 准教授 飯嶋 益巳
2019 (~2021)	腸を酸化ストレスから防御する過酸化物還元乳酸菌システムの構築	生命科学部 教授 新村 洋一
2019 (~2021)	清酒酵母特異的遺伝子が酒質に与える影響	応用生物科学部 准教授 中山 俊一
	紫外線被曝が皮膚、肝臓、脂肪組織における脂質代謝に与える影響の	
2019 (~2021)	リピドミクス解析	応用生物科学部 教授 大石 祐一
2019 (~2021)	シングルセル解析による霊長類味覚受容機構の解明	
2019 (~2022)	レタスの結球に関わる遺伝因子の同定およびその育種利用	農学部 助教 小松 憲治
2019 (~2022)	都市における樹木の健全な育成のための土壌条件	地域環境科学部 教授 鈴木 貢次郎
2019 (~2021)	深層学習と写真測量を用いた景観の点数化に関する研究	
2019 (~2021)	先端根圏に共生する菌根菌への炭素配分に関する研究	地域環境科学部 准教授 今井 伸夫
2019 (~2021)	高齢者における農産物購買時の情報過負荷の発生状況に関する	国際食料情報学部 教授 大浦 裕二
	実証的研究	
2019 (~2021)	入会林野に由来する多数記名共有林の森林管理上の課題と政策の検討	地域環境科学部 助教 山下 詠子
2019 (~2021)	都市近郊水源域における近代1世紀分の高精細な林分構造マッピング	地域環境科学部 准教授 橘 隆一
	と水収支変遷の解析	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
2019 (~2021)	ラットモデルを用いたヒト小眼球症の不均一性に作用する	生物産業学部 准教授 和田 健太
	遺伝的要因の解明	工70/庄未于即 /住秋1又 竹山)
2019 (~2021)	B3 MAPKKを介した植物浸透圧ストレス応答機構の解明	生命科学部 教授 坂田 洋一
2019 (~2021)	嫌気性菌Bifidobacterium属細菌のO2感受性メカニズムの解明	生命科学部 教授 川崎 信治
2019 (~2021)	鉄欠乏による骨・脂質代謝変動とアスコルビン酸摂取量に関する研究	応用生物科学部 准教授 勝間田 真一
2019 (~2022)	高齢化社会における漁村の持続的な地域運営の在り方に関する研究	国際食料情報学部 教授 吉野 馨子
/	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	

研究活動スタート支援

研究機関に採用されたばかりの研究者や育児休業等から復帰する研究者等が1人で行う研究です。 (期間2年以内、1課題 500万円以下)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2019 (~2020)	ポリエステル合成微生物における3HBオリゴマー分泌の機構解明	生命科学部 研究員 後藤 早希
2019 (~2020)	エクオール鏡像異性体の骨代謝制御メカニズムの解明と有効性評価	応用生物科学部 助教 田中 未央里
2018 (~2019)	林間放牧による森林生態系および流域の水環境への影響 一林間放牧と生態系サービス―	地域環境科学部 助教 山崎 由理

国際共同研究加速基金 国際共同研究強化 (B)

複数の日本側研究者と海外の研究機関に所属する研究者との国際共同研究です。学術研究の発展とともに、国際共同研究の基盤の 構築や更なる強化、国際的に活躍できる研究者の養成も目指します。(期間3~6年間 2,000万円以下)

研究課題名	研究代表者
変動が森林性大型動物(ツキノワグマとヒグマ)の土地利用に スト郷の歌伝	地域環境科学部 教授 山﨑 晃司
	S動が森林性大型動物(ツキノワグマとヒグマ)の土地利用に

若手研究

【2018年度公募以降】

博士の学位取得後8年未満の研究者が1人で行う研究です。なお、経過措置として39歳以下の博士の学位を未取得の研究者が1人で行う研究も対象となります。(期間2~4年、1課題 500万円以下)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018 (~2021)	太陽熱を利用した海水淡水化装置の技術科教材への応用	その他部局等 助教 實野 雅太
2018 (~2019)	植物寄生センチュウによる宿主認識機構の解明	生命科学部 助教 伊藤 晋作
2018 (~2020)	植物の根の肥大形質を決定する原因遺伝子の同定	農学部 准教授 三井 裕樹
2018 (~2020)	花弁のアントシアニン着色を制御する光応答経路の解明	農学部 助教 田崎 啓介
2018 (~2019)	マウス卵巣における細胞種特異的なin vitro遺伝子機能解析 システムの開発	生命科学部 研究員 佐々木 恵亮
2018 (~2021)	メタボローム解析に用いる糞便の最適な採取・保存方法の検討と 網羅的な代謝産物の測定	応用生物科学部 助教 盛 喜久江
2018 (~2019)	メタボリックシンドロームによる皮膚機能の脆弱化メカニズムの解明	応用生物科学部 助教 山根 拓実
2018 (~2020)	家庭の食品ロスの実態・原因の解明とロス削減のためのプログラム の開発	国際食料情報学部 助教 野々村 真希
2019~ (2021)	保育現場における生き物介在型環境教育プログラムの開発と継続的な 実践モデルの構築	農学部 助教 森元 真理
2019~ (2021)	ニホンジカの色覚特性の解明と農業被害軽減への応用	生物産業学部 助教 大久保 倫子
2019~ (2021)	炎症性疾患におけるPGLYRP1/PGNを介したTREM-1シグナル伝達 の役割	生命科学部 准教授 細田 浩司
2019~ (2020)	脂質エネルギー代謝転写因子SREBPの免疫系干渉を介した 生活習慣病制御機構の解明	応用生物科学部 助教 煙山 紀子
2019~ (2021)	米国ハリケーン・サンディーRBDにみる減災都市デザイン戦略と 手法の展開	地域環境科学部 准教授 福岡 孝則
2019~ (2020)	大規模マイクロサテライトデータベースと自動解析処理システム の構築	生命科学部 助教 田中 啓介

若手研究(B)

【2017年度公募分まで】

3 9歳以下の研究者が1人で行う研究です。 (期間2~4年間 金額500万円以下)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2016 (~2020)	国産食肉サプライチェーンの現段階と課題に関する実証的研究 一構造論的アプローチー	国際食料情報学部 准教授 野口 敬夫
2017 (~2020)	ラクトバチルス属のコリノイド合成能とプロバイオティクス 素材としての基礎的検討	国際食料情報学部 准教授 谷岡 由梨
2017 (~2019)	AMPKがSRSF1を介して選択的スプライシングに及ぼす影響 の解析	応用生物科学部 助教 鈴木 司

2017 (~2020)	日本鶏の品種創生における形質一育種観関係の理論構築	農学部 助教 工藤 光平
2016 (~2019)	特異な分子機構により抗腫瘍活性を示す大環状化合物の合成研究	生命科学部 准教授 勝田 亮
2016 (~2019)	農地の賃借料設定への地域的関与のあり方	国際食料情報学部 准教授 堀部 篤
	一参考賃借料制度の効果に着目して一	国际良科情報子的 准教技 堀的 馬

2019年度採択 競争的資金制度(科研費以外)・公募型研究資金制度の実績

戦略的研究推進事業/文部科学省

日本が直面する重要な課題の克服に向けて、挑戦的な基礎研究を推進し、社会・経済の変革をもたらす科学技術イノベーションを生み出す 新たな科学知識に基づく創造的な革新的技術のシーズ(新技術シーズ)を創出することを目的とする事業です。 (2019年度:770,000円)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2017 (~2019)	貧困条件下の自然資源管理のための社会的弱者との協働によるトランスディシ プリナリー研究	農学部 デザイン農学科 准教授 松田 浩敬

創薬基盤研究推進事業/厚生労働省

創薬支援ネットワークの構築により、大学や産業界と連携しながら、新薬創出に向けた研究開発を支援するとともに、創薬支援のための基盤強化を 図ることを目的とした事業です。

(2019年度:56,300,000円)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2016(~2020)	国産麻黄自給率10%達成に向けた研究	農学部 生物資源開発学科 教授 御影 雅幸

食品の安全確保推進研究事業/厚生労働省

食品の安全確保のために必要な科学的知見の収集や、リスクコミュニケーション等のための研究を実施する事業です。

(2019年度:10,000,000円)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018(~2020)	小規模事業者等におけるHACCP導入支援に関する研究	応用生物科学部 農芸化学科 教授 五十君 静信

地球規模課題対応国際科学技術プログラム(SATREPS)/国立研究開発法人科学技術振興機構・独立行政法人国際協力機構

科学技術振興機構(JST)と独立行政法人国際協力機構(JICA)が連携して日本と開発途上国との環境・エネルギー、防災、感染症等の地球規模課題について、 国際共同研究を推進する事業です。

(2019年度: 129,858,710円)

選定年度	研究課題名	研究代表者
$12018(\sim 2025)$	ジブチにおける広域緑化ポテンシャル評価に基づいた発展的・持続可能水資源 管理技術確立に関する研究	地域環境科学部 生産環境工学科 教授 島田 沢彦

草の根技術協力事業(草の根パートナー型)/独立行政法人国際協力機構

日本のNGO、大学、地方自治体及び公益法人の団体等がこれまでに培ってきた経験や技術を活かして企画した、途上国への協力活動を独立行政法人 国際協力機構(JICA)が支援し、共同で実施する事業です。

(2019年度:19,604,000円)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2016(~2021)	ブレッドフルーツ(BF)の有効利用と新規加工品開発による住民の生計向上と 健康改善	国際食料情報学部 国際農業開発学科 教授 杉原たまえ

戦略的プロジェクト研究推進事業委託事業/農林水産省

農林水産業の競争力強化に向けて、農林漁業者等のニーズを踏まえ目標を明確にしたスマート農業技術等の技術開発を推進する事業です。

(2019年度: 4,667,000円)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018(~2022)	海外植物遺伝資源の民間等への提供促進	国際食料情報学部 国際農業開発学科 教授 入江 憲治

イノベーション創出強化研究推進事業/農林水産省

農林水産省が定める「農林水産研究基本計画」に則しつつ、民間企業、大学、国立研究開発法人、都道府県の試験場、地方独立行政法人等による生物系 特定産業技術に関する研究開発を支援する事業です。

(2019年度:直接経費599,706円 間接経費138,000円 合計737,706円)

選定年度	研究課題名	研究代表者
2018(~2021)	ジャガイモシロシストセンチュウ土壌調査のためのハヤブサ型ドローンの開発	生物産業学部 北方圏農学科 教授 吉田 穂積